

～昭和から受け継がれる志木の夏の風物詩～

第52回民踊流しを開催します

志木市観光協会（会長：星野博之）では、敷島神社祭典にあわせ、市内の町内会や婦人会をはじめとした地域の皆さんが華やかな浴衣を着て本町通り（約650メートル）を盛大に踊る「民踊流し」を開催します。

現在、参加者（個人・団体）を募集していますので市ホームページからぜひご応募ください。

- 1 日時 令和8年7月18日（土） 19時30分～21時（雨天中止）
- 2 場所 県道保谷・志木線「本町通り」（本町1丁目から5丁目）
- 3 参加者募集・対象
 - （1）個人 市内在住・在勤・在学で、合同練習日及び事前打ち合わせに出席でき、当日に浴衣と帯を着用できる人
※小学生未満の子どもが参加する場合は保護者同伴
 - （2）団体 次に該当する、市内在住・在勤・在学の人で構成される団体やグループ
・団体の代表者または担当者（2人まで）が事前打ち合わせに出席できること
・当日に浴衣と帯を着用し「志木音頭」と「志木おどり」が踊れること
・警備員4人（10人未満の団体の場合は2人）を配置できること
※小学生未満の子どもが参加する場合は保護者同伴
 - （3）申込み 令和8年6月12日（金）までに市ホームページ内の申込みフォームまたは直接、志木市観光協会（産業観光課内）へ（応募者多数の場合は抽選）



▲市ホームページ

4 その他

民踊流しは、町内会、商工会、連合婦人会、文化協会など、多くの関係機関・団体の協力のもと、昭和48年から続く志木市の夏の恒例行事で、郷土の踊音楽として「志木音頭」と「志木おどり」を後世に引き継ぐ催しとなっています。



記者発表資料

令和8年6月1日

市民生活部産業観光課

農業振興グループ

担当者／大石（主事）

電話番号／048-473-1136

志木市